

スリナム月間情勢報告
(2024年7月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

7月のスリナムの内政、経済、外交月間報告は以下の通り。

1 内政

- (13日報道) 主要野党国民民主党(NDP)の党内選挙が実施され、ジェニファー・サイモンズ氏が同党初の女性党首として選出された。
- (23日、30日報道) 2025年の総選挙で協力することを発表していた幅広い自由と発展党(ABOP)(連立与党)と最高の結託党(PL)(野党)は、協力関係を白紙に戻すと発表。
- (30日政府発表) 気候変動や生物多様性、環境汚染等を含む環境課題への取り組みを強化するべく、政府はスリナム国家環境局(NMA)を設立。

2 経済

- (24日報道) 今年6月のインフレ率は、前年同月比16.2%を記録。国際通貨基金(IMF)は、2024年末のインフレ率は約14.5%になると見込まれると発表。2021年のインフレ率は約60%、2023年は32.6%であり、スリナムではインフレ率の低下傾向が続いている。
- (26日政府発表) NABARD(インド政府が設立した直接金融機関)の子会社であり、農業に特化した戦略コンサル会社 NABARD Consultancy Services(NABCONS)社は、22~25日にかけてスリナムを訪問し、同国の農業部門への支援として100万米ドルの寄付を行うことを発表。